

未来に向かって決算＝果実

# おどろ

## 永平寺町議会だより

第73号

INDEX

令和6年2月2日発行

特集 決算提言 P2～9

そこが聞きたい！

議員13人が一般質問 P13～17

議会だよりは  
こちらから  
ご覧いただけます！



永平寺町議会

検索





議会の視点

## 提言力＝課題発見力

解決力がすべてと思われがちですが、肝心なのは  
**「課題がどこにあるか」を発見する力。**  
 提言力とは課題を的確に発見し、どの課題を優先的に  
 対処すべきかを決める力。  
**提言力の高さが町の将来を決める!!**

### 令和5年度事務事業における提言

#### 総務産業建設常任委員会

##### ■ふるさと納税事業

制度の運用については不安定な面もあるが、制度の周知や返礼品の選定、開発等商工会や民間業者と連携し事業を推進されたい。

##### ■空き家対策関連事業

えい住支援課が新設されたことで、ワンストップ窓口ができ、その成果として県外からの移住者が増加したことは評価できる。今後民間のノウハウも取り入れながら空き家活用を促進されたい。

##### ■地域資源活用事業・観光情報発信事業

観光資源再活用事業の新規事業、稼ぐ観光地づくり応援プロジェクト事業はインバウンド誘客推進事業と連携し、事業拡大に取り組むこと。

#### 教育民生常任委員会

##### ■学校給食管理運営諸経費

○安定した給食調理員の確保

安心安全な給食を提供するには、安定した給食調理員確保が必務。働き甲斐のある職場にするための待遇改善が必要。

①給食調理員の正規職員と会計年度任用職員の比率は最低1対1が望ましい。

給食調理員が37人必要であれば、正規職員19人、会計年度職員18人。

②会計年度任用職員として一定年数勤務した者で、勤務態度が良好であれば、正規職員への登用制度の設立。

③同じ自治体の職員でありながら、一般行政職と技能労務職では給与面での格差が大きい。調理員は有資格者であることから、給与の見直しが必要。

④給食用の食材は量も多くかなりの重量である。女性が担当するには激務と考える。食材の搬入には、用務員の手助けを考えるべき。

##### ■公民館運営諸経費

○公民館活動と地域活動の課題

公民館活動と地域活動（社会教育）に接続性がない。公民館が地域活動全般の拠点となるように行政が包括的に管理し、公民館と地域の橋渡し役となるべき。

##### ■若者活用推進事業

○若い世代とのつながり

若者の地元離れを少しでも食い止めようとする工夫が欲しい。若い世代に、地域の一員としての意識が芽生えるよう、既存住民との世代間交流が生まれる新しい仕組み作りに取り組むべき。

##### ■地域づくり推進事業

○地域組織の意識改革

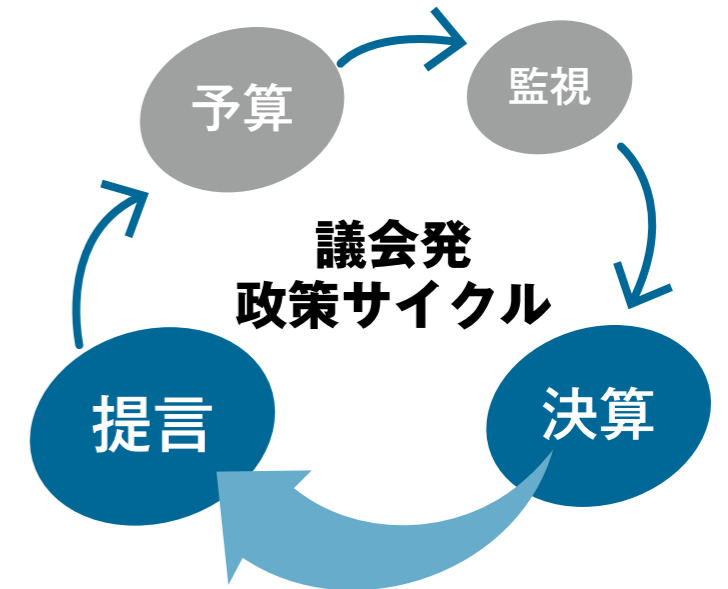
町の事業を地域で担ってもらい、対価を支払う。本当の協働を目指し、まずはモデルとなる振興会（連絡協議会）等を作ることに励むべき。町施設の管理運営の受け皿を地域へ移行していき、地域の活動資金の調達を自分達で行っていくように。



提言力＝課題発見力

決算で終わらせない。次は予算へ。  
 議会からの提言。議会発政策サイクルの大きな柱のひとつです。大きく変化する時代に的確に対応するため、議会は提言し続けます。

「つなげよう！ 予算編成へ」  
 だから今、議会は町に提言する



### 令和4年度決算認定に係る決議

- ①企業版ふるさと納税は、企業と地域との新たな共創を目指し、この制度を活用いただけるよう働きかけを継続し、寄付金額の増を図ること。
- ②老朽空き家は倒壊や不審者等の侵入などの恐れがあり、近隣住民にとって大きな不安がある。解体撤去の早急かつ積極的な取り組みと、老朽する前の活用の取り組みを行うこと。
- ③IT拠点施設（四季の森複合施設）については、活用実績を分析し、今後の方向性を示すこと。
- ④新型コロナウイルス感染症対策については、これまでの経験から得た対応ノウハウを基本にしながら、引き続き支援の制度設計を求める。
- ⑤EV自動車の普及の第一は充電施設の充実だが、町としてその整備の方向性を示すこと。
- ⑥健康診断の受診率の向上と、その一つとして人間ドックの助成増と、町の受付の開始を早めること。
- ⑦住民の健康を守るために、保健師を確保し、また地域包括支援センターへの支援も含め充実させること。
- ⑧健康福祉施設（永平寺温泉「禅の里」）は、毎年赤字が続いているが、指定管理を続けていくのか。また、本町の指定管理のあり方について再検討すること。
- ⑨介護保険の保険料は町の実態に応じたものにすること。
- ⑩公民館活動は活発だが、社会教育活動と連携しながら取り組むこと。

6～7ページ 事務事業における提言で注目事業

4～5ページ 決算認定に係る決議で注目事業

## 令和4年度決算審議

**保健衛生疾病予防費**  
**4,580,056円** 住民税務課

**健康診断の受診率向上と人間ドッグの助成額の増額と受付開始を早めること**

問 人間ドッグの個人負担額が大きい。受診推進には助成額の増額を。

答 受診推進に助成を検討したい。



**健康福祉施設費**  
**43,305,223円** 福祉保健課

**健康福祉施設(永平寺温泉禅の里)指定管理のあり方を再検討**

問 健康福祉施設「永平寺温泉禅の里」は赤字。同一事業者で続けるのか。

答 道の駅の一部であり、2期目の指定管理期間はスタート1年目である。



禅の里 こもれびの湯

**社会教育総務諸経費**  
**4,009,745円** 生涯学習課

**公民館活動は社会教育活動と連携して取り組む**

問 公民館主事も社会教育に関心を持ってほしい。本庁内に勤務する社会教育主事の活躍に期待。

答 有資格者は増加。アドバイス等をして形にする。



講座連絡協議会総会

## 教育民生常任委員会

**次世代自動車充電インフラ整備事業**  
**377,850円** 住民税務課

**EV自動車の普及は充電施設の充実整備の方向性は**

問 EV自動車の走行距離はまだ短い。公共施設に充電施設の設置を考えるべきでは。

答 EV自動車の技術開発が進むことで普及していく。充電設備については、コストパフォーマンスをみながら考えていきたい。



自動車充電インフラ整備

**在宅福祉事業**  
**38,248,594円** 福祉保健課

**住民の健康を守るために、保健師の確保と地域包括支援センターの支援を充実**

問 高齢者向けの配食サービスは必要であり充実を。

答 配食の主たる目的は見守りである。内容の充実と、事業継続のバランスは重要である。



**介護保険料(第1号被保険者保険料)**  
**463,952,860円** 福祉保健課

**介護保険料は町の実態に応じたものに**

問 要介護認定者917人。うち居宅サービスの利用者549人である。要支援者への対応は。

答 ケアマネージャーのプランによりサービス、筋トレなどの利用を決定する。フレイルチェックの勧奨実施に取り組む。



筋トレマシン

## 令和4年度決算審議

**地域おこし協力隊事業(歳出)**  
**2,654,405円** 総務課

**活動内容と進捗、今後の方向性の明瞭化**

問 地域おこし協力隊事業の成果及び効果、町への貢献度を知りたい。

答 映画制作活動、ハーブを通じた交流活動、小学校、中学校でのそれぞれ1回、音楽の授業での公演、ピアノ演奏活動で、期待もあり活用についても庁内各課だけでなく、町内各団体に呼びかけをしている。



ハーブ交流会

**防災対策事業(歳出)**  
**23,866,950円** 防災安全課

**防災対策と空き家対策の今後の方向性**

問 防災倉庫の設置状況と空き家対策の補助金状況は。

答 防災倉庫は8ブロックの自主防災組織連絡協議会の学校施設避難所に2年計画で進める。4年度は4施設、5年度も4施設設置して完了となる。自治会の防災倉庫は、自治会の判断で資機材購入費補助金を活用して設置している。空き家対策の補助対象は10件で、現在はえい住支援課で空き家バンク加入など、その他の空き家支援を説明している。



志比北防災倉庫

**IT拠点施設運営事業(歳出)**  
**18,550,678円** 総合政策課

**今後の施設利用の拡充プランと利用形態の方向性**

問 旧傘松閣、会議室、各スペース、ブース等の利用者数の捉え方と今後の設置見直しは。

答 テレワークスペースについては、令和4年度の後半から固定客が増えている。令和5年度の4月～9月の実績では190人と、令和4年度の実績151人を超えている。サテライトオフィスとして日常的に利用される方が多くなっている。旧傘松閣でのイベント利用に加え、IT拠点としてのオフィス利用についても、引き続き利用促進を図っていきたい。



四季の森複合施設

## 総務産業建設常任委員会

**庁舎管理諸経費(歳出)**  
**22,717,185円** 契約管財課

**公共施設の維持経費削減と今後の改修**

問 契約所管課と各施設管理課との連携や経費削減の状況は。

答 デマンド監視装置により電気使用料及び電気料金金の抑制を行い、公共施設の改修に関する連携については、4年度より毎月各課による所管施設の点検作業等、契約管財課及び総務課職員による第三者の視点から、四半期ごとに点検を行っている。



永平寺町役場

**地方特例交付金(歳入)**  
**17,496,000円** 財政課

**財源見込みの現実性の判断**

問 毎年当初予算の財源として見込んでいるが、予算を下回ることではないのか。

答 例年、当初予算においては過大予算化を避けるため、大体4.6億円程度にこの交付税を抑えている。実際には5億から6億程度交付されているので、下回ることはない。



**道の駅運営管理事業(歳出)**  
**48,343,150円** 商工観光課

**周辺市町の道の駅新設から、今後の来場者の減少予測とその対策プラン**

問 北陸新幹線や中部縦貫道などの整備が整う中で、指定管理者が行う今後の経営は。

答 毎年モニタリングという形で、道の駅の状況を全てチェックし、施設全体の維持管理状況、状態や管理運営の状況について行っており、その結果を確認している。今後そういった声を拾って、施設がさらに最適に使っていただけるように検討していきたい。



道の駅「禅の里」

## 令和5年度事務事業評価 教育民生常任委員会

**学校給食管理運営諸経費**  
**46,651,000円** 学校教育課  
検証議員 長岡千恵子・金元直栄・中村勘太郎

- 課題**
- ①小中学校10校（給食施設9施設）での正規職員の調理員は13人。4施設は2人、5施設は1人。
  - ②9施設で給食調理員の必要人数に対して2人欠員

- 提言**
- 安心安全な給食を提供するには、給食調理員確保が必務。働き甲斐のある待遇改善が必要。（他市町と比較して）
- ①給食調理員の正規職員と会計年度任用職員の比率は1：1
  - ②一定年数勤務した会計年度任用職員の正規職員への投与を制度化
  - ③一般行政職と技能労務職の賃金格差の



調理の様子

- ④食材搬入には男性用務員が手助け

**公民館運営諸経費**  
**3,489,000円** 生涯学習課  
検証議員 齋藤則男・上田誠・松川正樹・楠圭介

- 課題**
- 公民館活動と地域活動（社会教育）に接続性がない。  
公民館が地域活動全般の拠点に。

- 提言**
- 行政は包括的に管理し、公民館と地域の橋渡し役となるべき。



公民館まつり&きらめきステージ

**若者活用推進事業**  
**125,000円** 生涯学習課  
検証議員 齋藤則男・上田誠・松川正樹・楠圭介

- 課題**
- 若者の地元離れを少しでも食い止めるには

- 提言**
- 若い世代に地域の一員としての意識が芽生えるよう高齢住民との世代間交流が生まれる仕組みづくりを。



サロン松岡小学校4年生世代間交流

**地域づくり推進事業**  
**3,170,000円** 生涯学習課  
検証議員 齋藤則男・上田誠・松川正樹・楠圭介

- 課題**
- 地域組織の意識改革を

- 提言**
- 地域の協働を目指し、モデルとなる振興会（連絡協議会）等を作り、町施設の管理運営の受け皿を移行し、活動資金を調達するための意識改革に努めること。



令和壮年団草刈り奉仕作業

## 令和5年度事務事業評価

**ふるさと納税事業 個人・企業版**  
**82,700,000円** 総務課  
検証議員 森山充・清水憲一

- 課題**
- ①寄付者を増やすには
  - ②魅力ある返礼品の造成

- 提言**
- ①納税額か町のPRか町として明確な対応を
  - ②町と商工会とのタイアップからブランド力の高い返礼品を創出



ふるさと納税ホームページ

**地域資源活用事業**  
**5,045,000円** 商工観光課  
検証議員 清水紀人・川崎直文・酒井圭治

- 課題**
- ①広報宣伝対策について
  - ②情報発信について
  - ③誘客・再発掘対策について
  - ④観光資源再活用について

- 提言**
- ①PRパンフレットやノベルティグッズ等を用いて国内外へ町の魅力を発信できるように調査整備の充実を
  - ②SNSやDM、インターネットなども充分多用し情報発信のさらなる強化を
  - ③誘客・再発掘対策事業と観光資源再活用事業は、インバウンドの特性や価値観等も調査し対策を
  - ④観光資源再活用事業の新規事業や稼ぐ観光地づくり応援プロジェクト事業はインバウンド誘客推進事業と連携し事業拡大を



パンフレット英語版

## 総務産業建設常任委員会

**移住定住促進事業**  
**45,698,000円** えい住支援課  
検証議員 朝井征一郎・滝波登喜男

- 課題**
- ①情報発信について
  - ②移住者へのサポート
  - ③担当課体制
  - ④市街化調整地域について

- 提言**
- ①移住定住ポータルサイトやSNSの発信はより充実させ住みたくする工夫を
  - ②移住者交流会は評価できるが、より細かな相談体制を
  - ③4人体制で、えい住支援課が新設されたことでワンストップ窓口ができ、移住者増につながったことは評価できる。今後は民間感覚を取り入れ、歩いて結果を出してほしい
  - ④市街化調整地域内の地区計画づくりへの担当課の努力は評価できるが、スピードアップを望む



**観光情報発信事業**  
**19,050,000円** 商工観光課  
検証議員 清水紀人・川崎直文・酒井圭治

- 課題**
- ①PRノベルティグッズについて
  - ②観光ポスター作成について
  - ③稼ぐ観光地づくり応援プロジェクト事業について
  - ④観光素材集作成業務について

- 提言**
- ①PRノベルティグッズは使ってもらえるよう実用性も兼ねたものに
  - ②観光ポスター作成業務は幅広い方の評価を受けるように
  - ③稼ぐ観光地づくり応援プロジェクトは多くの事業者が利用できるよう、その周知や作り上げ等のサポートを的確に
  - ④町の魅力をより良く伝えるべく、体験や周遊など多くの素材を盛り込みたい



SHOJINポスター






考えよう  
決算

# …私（議員）はこう見た… 令和4年度一般会計決算 「あなたは誰に共感しますか？」

A 非常に良い D 悪い  
B 良い E 非常に悪い  
C 普通

「決算」を考える。各議員が「令和4年度の決算」について個人の評価をA～Eの5段階で評価します。  
「私の注目点は…」議員が自分の言葉で決算審議に対しての想いを明らかにします。

	<b>A</b> 酒井圭治議員	<b>将来に向けた若者の育成</b>	コロナ禍のなかで、生活支援や経済対策に対しての予算は精一杯、執行されている。今後、コロナ禍収束後の若者の活気づきから、未来に向けた新たな町づくりを進めて欲しい。
	<b>B</b> 川崎直文議員	<b>ふるさと納税事業</b>	令和4年度のふるさと納税事業の寄付額は前年比123%の増となり目標額を上回った。町の地方創生に係る事業に対しての企業版ふるさと納税を働きかけ、寄付額の増加に期待する。
	<b>B</b> 清水紀人議員	<b>持続可能な町へコツコツと</b>	人口減少社会を迎える中で財政は健全である。例として企業版ふるさと納税や農業担い手育成事業は町に活力を創り、除雪の見える化は効率化を促進。次年度へ活力増を!!
	<b>C</b> 森山 充議員	<b>計画的な予算執行を望む</b>	政策推進にあたっては長期的な計画の策定に始まり、当初予算の設定、執行、決算の流れとなります。この流れを意識して町政の運営を心がけてほしい。無理は長続きしません。
	<b>C</b> 滝波登喜男議員	<b>住民生活に寄り添う政策を</b>	新型コロナウイルス感染症や世界でほっ発した戦争により、減収や物価高で住民生活に影響している。また、地域の課題である老朽空き家の存在。これら地域や住民の困り事に対し、より強力に大胆に取り組んでほしい。
	<b>C</b> 上田 誠議員	<b>希望とワクワク感の政策を</b>	地方自治にあって何より住民生活が基本。現在の社会情勢下では住民に希望を与える政策、何がかわるワクワク感の政策、政策に参加参画する仕組みづくりの執行が求められる。
	<b>B</b> 楠 圭介議員	<b>未来への投資とスピード感</b>	少子高齢化・人口減少が待ったなしの状態であるが、高齢者対策だけでなく町の未来を感じられる事業に思い切った投資が見たい。百点満点を目指すよりスピード感を大切に。

	<b>C</b> 長岡千恵子議員	<b>生活困窮者は支援から自立へ</b>	令和4年度はコロナ禍にあり、生活困窮者向けの助成金が目立った。生活困窮者の助成は必要ではあるが、一過性の支援ではなく、生活困窮者が自立できるような支援となる施策が必要。
	<b>B</b> 朝井征一郎議員	<b>地域の将来は地元住民で</b>	地域の課題は、人口減少が問題だ。地域の人口推計を見ても減少傾向が強く様々な活動に支障をきたす。人口増加に向けた都市計画や交通インフラ整備など、企業誘致や移住定住の促進にスピード感を持ってやる。
	<b>D</b> 金元直栄議員	<b>住民の声に耳を傾けよ！</b>	志比北小学校統廃合の強化や幼稚園・幼児園の統廃合と民営化。どれも地域づくりに逆行だ。今こそ周辺地域でも安心して子育てできる環境を整えるべきなのにそれが見られない。
	<b>B</b> 清水憲一議員	<b>新幹線開通！対応大丈夫？</b>	新幹線開通は100年に1度の大チャンスと大きな旗を立てたが、お迎えするための体制作り予算とは言い難い。特にインバウンドへの対応は重要。先を見据えた施策が町づくりの基本。
	<b>B</b> 齋藤則男議員	<b>財政運営の健全化と適正化</b>	限られた予算の中、最大の効果を上げるための努力は見受けられるが、歳入予算で、歳入過小が見受けられた。収入確保に努め新年度の予算編成や行政執行に生かされることを望む。
	<b>C</b> 松川正樹議員	<b>真面目にかつ厳しく言えば</b>	良かれと信じ申し上げている。行政側も反論、反発があれば思う存分言えたい。論破するだけの気持ちで向かってほしい。こちらを受けて立つのみ。町の利益が最優先だ。
	<b>A</b> 中村勘太郎議員	<b>安全・安心な町づくり</b>	地域・企業防災連携推進事業において永平寺町内で浸水被害が想定される地域において、企業と自治会とが災害時に事業所2階を避難所として提供する協定締結を促進し地域の強化推進を評価する。



問

答

12月定例会

そこが聞きたい!

一般質問という名の政策提案

13名の議員が町政全般について、一般質問を行いました。

一般質問は議事録に基づき質問議員本人がまとめています。

【一般質問：目次】

森山 充 13P	酒井 圭治 14P	朝井征一郎 14P	松川 正樹 14P
清水 憲一 15P	楠 圭介 15P	長岡千恵子 15P	川崎 直文 16P
清水 紀人 16P	齋藤 則男 16P	上田 誠 17P	金元 直栄 17P
滝波登喜男 17P			

一般質問議事録はこちら

## 問 水稻から園芸農業への転換の現状は



梅干し作り

町長 梅は産地としての位置付けではなく、大本山永平寺の花が梅であり、町の花に認定された経緯がある。

農林課長 油桐について栽培という位置付けは考えていないが、葉は町の伝承料理である葉っぱ寿司として利用されている。講習会の開催などの更なる普及および次世代への継承のための支援を引き続き行っていきたい。

問 町の花「梅」町の木「油桐」の栽培と有効利用の現状および今後の方向性は。

農林課長 転換は進んでいない。中山間の圃場が多く土質や水はけの点で園芸作物作付の困難さが理由と考えられる。今後は地域振興作物の支援を継続し、高収益性が見込める酒米など園芸以外の水稻作でブランド化を目標に支援していきたい。

問 水稻から園芸農業への転換の現状と転換の進まない理由、今後の取り組みおよび方向性は。

農林課長 転換は進んでいない。中山間の圃場が多く土質や水はけの点で園芸作物作付の困難さが理由と考えられる。今後は地域振興作物の支援を継続し、高収益性が見込める酒米など園芸以外の水稻作でブランド化を目標に支援していきたい。

森山 充 議員



## 答 進んでいない

## 議案への賛成反対討論

### 議案第44号 令和4年度一般会計及び特別会計の決算認定について

#### 反対討論

金元 直栄

町民に必要な支援等の事業も多くあったことは認めるが、反対理由の第1は、保育園の統廃合と民営化。これで20名もの保育士が退職に追い込まれている。第2は、学校の統廃合の進め方。住民への十分な説明は行われたのか。保護者を先に廃校への誘導で地域の分断にもつながる進め方。学校がなくなると地域はどうなるのかにも答えは出されていない。第3は、町は昨

年も3億円を基金に積み増ししているが、この物価上昇の中、中小企業や住民へ積極的な財政支出をすべき時なのに十分な対策とはなっていない等の理由で反対とする。

#### 賛成討論

森山 充

予算の執行残が目立つが、新型コロナの影響などやむを得ないと考え賛成する。

### 議案第61号 放課後児童健全育成事業に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

#### 反対討論

上田 誠

この条例は放課後児童クラブの指導者（支援員）の研修を規定するもので、内容は研修終了期限は課されるものの研修終了予定者を支援員とみなす措置自体は無期限化されるものであり、当町の規定を後退させるものである。また、現在の規定を実施しないことになりかねない状況になるのではと危惧し反対する。

足となっている現状を踏まえ、何より人手を確保することで、児童の安全安心を守ることが不可欠と考え賛成とする。

#### 反対討論

金元 直栄

この条例の改正は、放課後児童クラブの指導員で、資格を有していない者に対する研修を指定日から「当分の間」とするなど、これまでは定められた期日内に研修を行われなくても放課後児童支援員として業務に従事できるとなっていて、定められた研修を先延ばしするもので、指導員の質にも関係することから、この改正は認められない。

#### 賛成討論

長岡千恵子

放課後、自宅に保育する人がいない家庭が放課後児童クラブを利用している。放課後児童クラブの指導員には研修は必要であるが、なり手不

### 請願第5号 「健康保険証を持ってない人」を作り出す健康保険証廃止の中止を求める請願

#### 反対討論

森山 充

病院でマイナカードを使ってみたが、顔認証など手続きも簡便な印象を受けた。保険証の不正利用防止などにも有用であり、カード普及の妨げとなる恐れがある本請願の採択に反対する。

代は国も自治体も、その姿勢が必要だと考え反対を表明する。

#### 賛成討論

長岡千恵子

健康保険証をマイナンバーカードに紐づけするというが、知的障害や障害などがある人には、システムが変わることへの理解が困難である。障害のある方は往々にして高額な医療を受けている方が多いと思われる。理解が困難であることから医療が受けられなかったり、保険適用外になり膨大な金額を請求されたりすることもある。こうした方々には従来の保険証が必要と考え、請願に賛成する。

#### 賛成討論

金元 直栄

マイナンバーカードにひも付けされたマイナ保険証の導入により、来年初には現行の保険証を廃止する。国民の不安をよそに強引に決め進めている。しかし、制度上、障がい者や認知症の人など、マイナンバーカードを持たない、持てない人が生ずること。マイナンバーカードへの健康保険証のひも付けが進んでいないこと、さらに医療機関でのマイナ保険証での診療は5%にも満たないこと。また、国民へのアンケートでも8割の人が現行の保険証を残すべきだとしていることから、この請願には賛成する。

#### 反対討論

楠 圭介

マイナンバー制度の目的はデジタル化。人口減少社会を乗り越えるため、業務の効率化や深刻な人手不足を解消する手段であり、これまでのように誰も取り残さない社会を維持するため国を挙げて取り組んでいる。

最初から100点を目指し足踏みするより、目標に向かってまずは一歩・二歩と踏み出してみる。これからの時

#### 賛成討論

上田 誠

現在マイナンバーカード申請率は78%。健康保険証としては57%。利用率は4.5%であり、世論調査でも延期撤回は72%。カード利用の不安は80%以上。健康保険証の廃止により、障がい者、認知症の方、高齢者など社会的弱者とされる方々は制度的に「持てない人」になりかねない。国民の不安をなくす努力をすべきと考え、この請願に賛成する。

**問** 自動運転レベル4での接触事故と今後の進め方について **答** 検証実験後、3月以降再開



自動運転

◆その他の質問…カーボンニュートラルについて。

**問** 知事要望にある新しい橋の建設について **答** あらゆる機会を通じて県に要望する

望んでいる。ハローワークとも相談している状況。今後有効な対策を考えていく。



志比北地区のESHIKOTO

**問** 成年後見制度利用の推移と展望は **答** 増加傾向 必要に応じて町長申立て

町長 町長申立てが必要である方には寄り添い、関係団体から情報収集して判断をおおぎ、スピード感を持って対応したい。成年後見人制度が確立されることで、安心につながる。



◆その他の質問…国民健康保険の国庫補助金の減額調整とは。



清水憲一議員



楠圭介議員



長岡千恵子議員



**問** 町のグローバルウェルネス事業の将来は **答** 観光政策としてウェルネスツーリズムに取り組む



ウェルネス国際会議

**問** 自転車用ヘルメット購入に補助金を **答** 着用は自分のため・努力義務・啓発を



**問** いじめの実態を明らかに! **答** いじめがある前提で受け止める



◆その他の質問…英語教育の利点と難点。新幹線競争時代。吉峰寺に光を。公民館活動を社会教育につなげる。

酒井圭治議員



朝井征一郎議員



松川正樹議員



問 大切な学校給食、自校調理方式で 答 町の現状、特色にあった方式で

上田 誠議員



問 国は現代食生活の現状・課題を①食に関する知識や判断力の低下②栄養摂取食習慣の偏りとし、その（是正として）食育基本法を、その食育現場として学校給食法を①正しい食習慣の確立②栄養摂取と偏りは正③食に関わる人々に感謝と理解のために定めた。日常的に身近な食育現場として自校調理方式は有効・必要不可欠でないか。

町長 現在も食育基本法、学校給食法に基づいて行っている。今一度町の現状・特色にあった方式で将来の子どものために繋げていく。

教育長 食育として専門職を置き、幅広い内容で食の大切さを指導している。

問 身近で日常的な自校方式だから地産地消の地域振興や「食」の指導選択習慣。長期的には住民の健康、医療、介護にも繋がる。長期的に経済的評価で把握しきれない食生活、持続的な地域づくり、子育ての町としての食教育は魅力と柱になり得ると考えるが。

町長 将来につなげるため今一度現状課題を冷静に判断し将来の子どもに繋げるため研究していく。

志比北小学校休校の意味は

問 学校を核とした地域振興、賑わいで今後の開校を視野に。

町長 地域の思い総意を尊重し、賑わいや学校を取り戻す意味で休校とした。

◆その他の質問…母子健康手帳の変更は。

問 志比北小学校の休校とは 答 委員会を設け協議する

金元 直栄議員



問 志比北小学校の廃校を、町は十分とは言えない住民への説明を進めてきた。これは、住民へ地域づくりの諦めを求めるものだ。ここに来て学校を「休校」というが、学校再開への休校が、住民への言い訳か。町の方向性こそが大事だ。

町長 休校は地域振興会からの要望で、にぎわいを取り戻し復活できたらとの強い思いが込められたもの。また、地域未来投資促進法のエリアとして町は考えている。

公共施設の指定管理者と管理委託

問 指定管理者制度は20年の間に全国で約8万件の公共施設が運営委託され、約45%が公募でなく委託されている。国は指定管理者制度運用の留意点を示し、業務報告や管理の評価など指摘している。本町の指定管理者の選定では、公共的団体へなど公募によらない指定も必要ではないか。

契約管財課長 国からの指摘事項は確認し、評価委員会も設け監督責任を強化している。指定管理者の募集は公募で行っている。

町長 公募が公平で良いが、指摘の通り検討してみる。



永平寺温泉 禅の里

問 にぎやかな過疎を目指して 答 人材育成のための過疎債活用

滝波 登喜男議員



問 上志比地区では、酒蔵の新興事業に農家の参画や観光を呼び込む、カヤック・農家民宿・飲食業など多彩なブレイヤーが交差する。にぎやかな過疎」となりつつある。行政の役割が重要で、一過性ではなく持続性・継続性があるものとなるよう人材育成をしてほしい。

町長 人材育成は至上命題。永平寺テロワークを核として、農業・観光・ものづくり・地域など様々な角度の皆さんと協議を進めていく。過疎債も人材育成に有効な活用をしていく。

志比北地区の融和を図れ

問 議会は、志比北振興連絡協議と区長会に志比北小統合に関する意見交換会を申し入れたが、両会の回答は「栃原地区以外は小学校統合に賛成である」と拒否された。明らかに地域分断が生じている。融和を図るため、振興策協議は全ての地区が参加、同時スタートが肝要だ。現状は。

町長 分断がない中で、これから学校休校という位置づけで新たに進めていく。全地区の皆さんと協議していく。

◆その他の質問…都市計画の見直し状況。

問 永平寺町農業基本計画の改定は 答 令和6年度の改定となる

川崎 直文議員



問 永平寺町農業基本計画（計画期間2019年4月～2024年3月）の実績は。

農林課長 主な取り組みの実績。

「食料」で学校給食の地場産農産物利用率（目標60%）は50%で未達、特別栽培米作付面積（目標16ha）は34.4haで達成。

「農業」では、酒米作付面積（目標20ha）は55haで達成、農用地利用集積率は（目標80%）63.8%、「農村」ではほどほど移住・定住者数（目標3件）は4件で達成。

問 改定、見直し内容は。

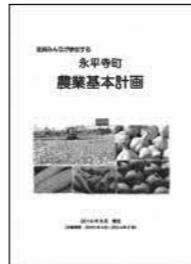
農林課長 「食料」は、ブランド化の推進販路拡大の強化、では永平寺町を「いちほまれの里」として販路拡大に取り組む。

「農業」では、特色ある農業の活性化で輸出用日本酒の酒米の生産を振興する。

「農業経営の安定化」では、地域計画、目標地図の作成に注力する。

問 現在の進捗状況を踏まえて改定の期日は。

農林課長 県農業基本計画との整合性を取り、令和6年度に改定する。



令和6年度に改定の永平寺町農業基本計画

問 他市町が取り組む学校給食センターと当町の給食施設について 答 安心安全の徹底と、働く方の負担軽減

清水 紀人議員



問 あわら市、越前町共に国の学校給食衛生管理基準に適合した運営が十分でないことから、新しい給食センター整備を進めた。当町は、適合した運営ができているか。

学校教育課長 給食施設の構造上対応が難しい部分もあるが、工夫して可能な範囲で対応している。

問 HACCPの導入状況はどうか。

学校教育課長 町のマニュアルを定め実施。子育て支援課長 幼稚園も遵守し調理を行う。

問 学校給食センターの視察を終えて、調理員や従事者の負担を軽減し、新しい設備で効率化を図ることを考えた場合、参考とすべき点、特に給食センターは取り組むべき利点が多いのではないかと感じた。町の考えは。

町長 様々な課題解決に向けて既存の施設、親子給食室方式、給食センター方式等、現状の課題を将来に向けて、子ども最優先で様々な角度から議論していく。

HACCPに基づく衛生管理の方はこちら

HACCPの考え方を取り入れた衛生管理の方はこちら

問 上志比地区の将来について 答 地域で活躍する人への支援を進めたい

齋藤 則男議員



問 過疎に指定された上志比地区の将来の姿が想像できない。有利な条件で借り入れができる過疎債、上志比地区の振興に役立つっているのか。

老人福祉センター取り壊し予定とのこと。しかし、その跡地はどつなるのか。また、旧村民プール、現在の上志比中学校プールはどうするのか。長年にわたり放置されている。

利活用は地域で考え、アイデアをとのことだが、地域に任せただけでは大変難しい。行政が表に立ち、指導的な立場で地域をリードして存続を願う。

町の行政について守りの行政でなく、攻める行政を望む。守りも大切だが、攻めるのも必要と思うが。

総合政策課長 魅力や個性ある地域づくりは人が主役となる。地域で活躍する人と連携し、支援を進めたい。

学校教育課長 プールの存続には多額の費用がかかる。より良い利活用方法を地域の皆さんと一緒に考えていく。



上志比中学校プール

◆その他の質問…令和6年度の予算編成方針について。町の小学校、中学校の教育環境は十分と言えるのか。

## 議員のなり手不足解消に向けて

議行改 会政革  
特別委員会

### 協議事項

#### ■議員報酬

県下で一番低い報酬額を引き上げることは、全員一致しているが、改正額について 様々な意見がある。そこで、現在の活動時間に対する報酬額を原価方式で算出した上で、改正額（案）を決定する。住民理解をいただいた後、報酬審議会に提出する。

#### ■議会モニター制度の導入

全国の様々な制度内容を精査し、本町に合ったものとする。また、モニターへの報酬は、他の特別職（非常職）の報酬を参考にすること。

### 議会の視点



議員報酬や議員のなり手不足解消に向けて、町民の皆さんのご意見をお聞かせください。

## 小学校統合に向けて準備状況の報告

学再検 校編討  
特別委員会

### ■志比小学校・志比北小学校統合後

項 目	統 合 後
制 服	現在使用しているものを使用
体 操 服	志比小学校の体操服にする
ランドセル・内ズック	現在使用しているものを使用
校 名	「志比小学校」とする
校 歌	「志比小学校の校歌」とする
休 校 式	令和6年3月22日（予定）

### ■スクールバスの運行準備

協議日	協 議 事 項
R 5.7.11	東回りと西回りの2路線で計画・停留所はコミュニティバス停留所
R 5.8.8	保護者要望により、吉波口・轟・鳴鹿団地停留所の3箇所を追加
R 5.10.17	児童と幼児園送迎の安全を考慮し、谷口区の空地进行発着地とする
R 5.11.21	児童乗車により運行時刻の調整
R 5.12.12	保護者要望により栃原第2停留所を追加。西回りの下校便について積雪時は上久米田交差点に迂回運行

### 議会の視点



令和6年4月1日統合を目指し、子ども達の安心安全を守るために慎重に準備をすすめること。

### ■スクールバスの運行計画（案）



東回り 停留所等	西回り 停留所等
① 吉波停留所	① 吉波停留所
② 吉波口停留所	② 岩野停留所
③ 栃原停留所	③ 上浄法寺停留所
④ 栃原第2停留所	④ 殿村停留所
⑤ 栃原口停留所	⑤ 下浄法寺停留所
⑥ 轟停留所	⑥ 山鹿ふれあい会館
⑦ 轟ふれあい会館	⑦ 鳴鹿団地
⑧ 老人センター	⑧ 鳴鹿橋停留所
⑨ 谷口空地	⑨ 谷口空地

## 中部縦貫自動車道全線開通からの観光対策（視察レポート）

総産建 務業設  
常任委員会

中部縦貫道については和泉から油坂の1区間15.5kmを残すのみで、3年後の2026年春の開通によって、岐阜県側の油坂峠道路並びに東海北陸道と接続し、福井～岐阜～中京圏を結ぶ新たなネットワークが形成されることとなり、経済文化の益々の交流が期待できる。高山市においては中部縦貫自動車道など高速道路のネットワークが図られるが、この対応については飛騨高山として東海テレビや北陸テレビなどプロモを行い、PRビデオの制作においては1000万から2000万円をかけ制作し、中京テレビ、JR東海、京王電鉄、JR東日本で情報発信を行っていた。また民間活用においてはイベント補助も行い住民に近づけた体験プログラムを構築しながら、またインバウンドも住民に理解されるよう図っていた。



### 議会の視点



住民レベルの受け入れ意識の向上と民間活用への補助金の設立を。

## 請願と決算認定を審議

教民 育生  
常任委員会

### 付託案件（12ページ 議案への賛成反対討論）

請願「健康保険証を持てない人を作り出す健康保険証廃止の中止を求める請願」について審査し、採決を行い4対2で委員会では採択とし、本会議に意見書の提出も含め 提案することを決した。

出された意見は、アンケートでも8割もの人が現保険証の廃止には反対していること。自己の判断が必要なマイナ保険証を持てない人が必然的に生まれること。マイナカードにひも付けされることで個人情報の流出への不安からカードの取得や、ひも付けしない人が多数存在すること。今の紙の保険証ならこれまで通りでいいことなどの意見のほか、トラブルの原因は国のシステムによるものか、ひも付け作業員の問題があるのではないか等の意見が出された。

### 決算・事務事業について意見交換

令和4年度決算認定に係る議会からの指摘事項の決議の内容、及び令和5年度事務事業の評価や提言について、理事者側から内容や指摘の意味の確認についての意見が出されたことから、それらの意味を含めて理事者と意見交換を行った。

### 議会の視点



健康保険証がマイナンバーカードに移行することに不安や疑問を感じている人の不安や疑問を除く努力が必要では。



# 新年議長挨拶

永平寺町議会議長

中村 勘太郎

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、平素より当議会に對しまして深いご理解ご協力を賜りくお礼申し上げます。

コロナ禍という未曾有の災禍も落ち着きを見せ、昨年からは様々な活動が再開されてきました。皆様の生き生きとした笑顔や、ご活躍を見るにつれ、大変うれしく感じている次第でございます。

そんな中、一月一日に起こった能登半島地震による被害状況には、隣県のことだけにとりわけ他人事ではなく心を痛めております。おさくになりになられた皆様のご冥福を心よりお祈り申し上げます。また一日も早い復旧、復興を祈念するものでございます。私たちも防災への意識をより強くしていきます。

今年三月十六日には、県民待望の北陸新幹線金沢―敦賀間が開業となります。交流人口の拡大や移住定住促進など、地域への影響も極めて大きいことが予想されますので、この好機を着実にとらえ、経済など活性化するよう、行政と連携しながら努力して参ります。

また、開かれた議会に向けた取り組みとして、SNSを使った本会議の動画公開、本広報紙の充実、議会と語ろう会の再開など広報活動に力を入れ、情報発信とご意見を拝聴できる環境づくりに努めて参りますので、引き続きご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

町民の皆様にとって、本年が健やかで実り多い一年となることを心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。



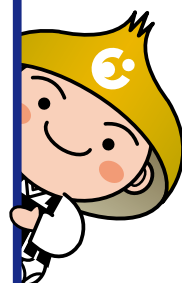
## 12月議会 再放送日程

2月5日(月)～2月11日(日)ごろまで毎日放送

毎朝6:00～ 夜24:00～

約2時間番組

令和5年12月定例議会のケーブルテレビでの再放送日程は、2月5日(月) から2月11日(日) 頃まで、毎日朝6時からの2時間と24時からの2時間、同一内容を放送致します。放送内容は会議日程の順番に沿って毎日変わります。議会生中継をご覧になれなかった方、興味のある方は是非ご覧ください。



次回定例会は

2月26日(月)  
開催予定

議場で傍聴できます。ぜひお越しください!

役場本庁舎3階までお上がりください。

エレベーターもございます。事前申込不要!



議会HP

永平寺町議会だより **みでの** 第73号

<https://www.eiheiji-gikai.jp/>

発行 永平寺町議会

編集 議会広報特別委員会

### 議会広報特別委員会

委員長 川崎 直文

副委員長 長岡 千恵子

委員 酒井 圭治

森山 充

滝波 登喜男

松川 正樹

楠 圭介

### 発行責任者

議長 中村 勘太郎



議会活動レポートHPです。議会のいろんな活動が見られます。



50代の頃から議会だより一筋に頑張り続けてきたが、新しく加わった若き編集委員のエネルギーな改革には拍手を送っている。なかなかいいのだ。ただ中には過激な変革もないことはない。そろそろ古参として申し上げようとは思っている。かなりレベルの高い議会だよりが見えてきたので。(松川 記)